

2541

年十一月十三日ハ孰レモ大東亞戰爭發生前ノ事態ノ下ニ於テ作
成セラレタルモノテアリマスルノテ本案ハ右ノ諸決定トハ考案ノ
事情ヲ著シク異ニスル次第テ御座イマス
接シマスルニ大東亞戰爭發生前ニ於キマシテハ帝國ハ對支處理ニ
當リ成ルヘク米英トノ衝突ヲ避ケ出來得ヘクンハ米英ヲモ利導シ
事變解決ニ資セシメントノ考慮カアリマシタノテ半面ニ於テ支那
ニ於テ米英ノ跳梁ヲ現存セシメツツ事變處理ノ方途ヲ講セサルヲ
得サル事情ニ置カレテ居リマシタル關係モアリ自然事變處理方策
ニ付テモ今日トハ異ナツタ考慮ヲ用ヒサルヲ得ナカツタ次第テ御
座イマス
然ルニ大東亞戰爭發生後ノ今日ニ於キマシテハ事情ハ激變致シ帝

外務省

2

S 1.1.1.0 - 27

6397

0086

S 1.1.1.0 - 27 6396

2540

18
A

御前會議議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理
根本方針」ニ關スル內閣總理大臣提案理由説明
之ヨリ會議ヲ開キマス。御許シテ得タルニ依リマシテ本日ノ議事
ノ進行ハ私カ之ニ當リマス
謹ミテ大本營陸海軍部及政府ヲ代表致シ議題「大東亞戰爭完遂ノ
爲ノ對支處理根本方針」ノ提案理由ヲ御説明申上ケマス。
本案ハ大東亞戰爭發生後現下ノ新事態ノ下ニ於テ大東亞戰爭完遂
ノ爲帝國トシテ執ルヘキ對支處理根本方針ヲ定メントスルモノテ
御座イマス曩ニ御前會議ニ於テ決定セラレマシタル「支那事變處
理根本方針」(昭和十三年一月十一日)、「日支新關係調整方針
(昭和十三年十一月三十日)及「支那事變處理要綱」(昭和十五

外務省

1

49

0085

ス
 斯ル見解ノ下ニ大本營陸海軍部及政府協同シテ「大東亞戦争完遂
 ノ爲ノ對支處理根本方針」ヲ作成シ茲ニ提案致ス次第テ御座イマ
 ス
 議題ニ付キマシテハ大東亞大臣、外務大臣及大本營陸海軍部ヲ代
 表シテ參謀總長ヨリ夫々説明ヲ致シマスカ先ツ議題ヲ朗讀致サセ
 マス

外務省

ヘラレマス
 國ノ對支處理ハ對米英戦争遂行トノ關係及現段階ニ於ケル支那ノ
 事態其ノ他諸般ノ情勢ニ鑑ミ新ナル構想ヲ加フルヲ必要トスルニ
 至ツタ次第テ御座イマス
 畏クモ米英ニ對スル宣戰ノ大詔ヲ拜シマシテヨリ茲ニ一年有餘其
 ノ間内外ノ情勢殊ニ重慶ノ動向、更新支那ノ事態、世界情勢全般
 ノ推移等ヨリ稽ヘ對支處理ニ關シテハ帝國ハ速ニ日支提携ノ根本
 精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根
 據名目ノ覆滅ヲ圖リ更新支那ト一體戦争完遂ニ邁進シ成ルヘク速
 ナル時機ニ於テ對支全面的處理ノ礙地ヲ確立シ對米英戦争遂行ニ
 専念シ得ルニ至ル事態ノ造成ニ努ムルコトカ今日國家ノ急務ト考
 ヘラレマス

外務省

シマシテハ國民政府ニ協力シテ其ノ參戰ノ名分ヲ世界ニ闡明シ且
 帝國ノ公明ナル態度ヲ廣ク内外ニ徹底セシムルニ努メマシテ其ノ
 對外的効果ヲ收メルコトニ努力致シ度イ所存テ御座イマス
 他方支那ノ參戰ハ第三國トノ間ニ種々ナル關係ヲ生スルノテ御座
 イマス即チ敵國ニ對シテハ其ノ現支諸權利ヲ消滅セシメ支那ノ自
 主的地位ヲ恢復スルコトトナリマスルシ獨伊等ノ友邦トハ共同ノ
 敵ニ對スル戰爭完遂ニ寄與スル次第テアリマス又中立國ニ對シテ
 ハ支那ノ異常ナル決意ヲ示ス機會ヲ得マシテ之等ノ關係ト帝國ノ
 公正ナル措置ト相俟ツテ國民政府ノ國際的地位ヲ固ムル上ニ資ス
 ル所少ナカラスト存スルノテ御座イマス
 其ノ間帝國ニ於キマシテハ獨逸、伊太利、佛蘭西其ノ他中立諸國

外務省

7 54 S 1.1.1.0 - 27

6401

0090

御前會議議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理
 根本方針」ニ關スル外務大臣説明
 謹ミテ本方針ニ基ク諸方策實施ニ關聯致シマスル第三國關係ニ就
 キマシテ御説明申上マス
 帝國外交ノ立場ヨリ見マシテ今回ノ諸施策ハ萬邦ヲシテ各其所ヲ
 得シメントスル帝國對外國策ノ根本精神ニ合致スル所テ御座イマ
 シテ之ニ依ル帝國ノ公明ナル態度ノ闡明ハ大東亞地域内ノ諸民族
 ヲ初メ印度其ノ他米英ノ壓迫ニ惱メル諸民族ニ對シ相當ノ心理的
 影響ヲ及ホスモノト思考致ス次第テ御座イマス尤モ敵國側ニ於キ
 マシテハ國民政府ノ參戰竝ニ帝國ノ諸措置ニ就テ種々ナル惡宣傳
 ヲ爲スヘシト豫想セララルルノテ御座イマスルカ之ニ對シ帝國ト致

外務省

6 57 S 1.1.1.0 - 27

6400

0089

御前會議議題「大東亞戰爭完遂」爲ノ對支處理根本方針ニ關スル大東亞大臣説明

謹ミテ本案中第一方針並ニ第二要領ノ一、二、三及三ノ(四)ニ付キマシテ御説明申上ケマス

一、本案第一方針ニ關シ

總理大臣ノ述ヘラレマシタル提案理由ニ基キ今日大東亞戰爭完遂ノ爲帝國ノ採ルヘキ對支處理方針トシテ最モ肝要ナルコトハ

(一)國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ●根本精神ニ則テ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルコト及(二)世界戰局ノ推移ト睨合セ米英側反紅ノ最高潮

外務省

9 56 1.1.1.0 - 27 6403 0092

ニ對シマシテ帝國ノ公明ナル態度ニ順應スル様誘導スルコト緊要ナリト思考致シマスルカ具体的ナル問題例ハ佛蘭西、伊太利等ノ在支租界ヲ國民政府ニ返還方ヲ斡旋スルカ如キ問題ニ就キマシテハ相當ノ困難ヲ豫想致サレルノテ御座イマス帝國ト致シマシテハ之等諸國トノ友好關係ヲ充分ニ考慮致シマシテ帝國ノ對外諸施策ノ全般ト照應シテ機宜ノ措置ヲ講シ以テ目的ノ達成ニ努力致シ度キ所存テ御座イマス

以上ヲ以テ私ノ説明ヲ終リマス

外務省

8 55 1.1.1.0 - 27 6402 0091

全ナル協力ヲ爲スルモノナル旨ノ基本的取極ヲ締結スルコトカ
 必要テアルト考ヘマスルト共ニ國民政府ヲシテ各般ニ亘リ自衛ノ
 途ヲ講セシメ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ニ必要ナル生産ノ
 増強、戰爭目的ニ對スル官民認識ノ普及並ニ治安維持ノ強化等
 ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾ナカラシムルコトカ
 必要テアルト存スル次第テ御座リマス

外務省

ニ達スルニ先テ右ニ基ク對支諸施策ノ結實ヲ圖ルコトニ存スル
 ト存セラレマス
 仍テ右趣旨ヲ本案ノ方針ト致シマシタ次第テ御座リマス
 右方針一ニ依ル對支諸施策ノ要領ハ本案第三ニ掲ケテ居リマス
 又右方針ニハ時機的ノ關係ニ於ケル帝國トシテノ努力目標ヲ示
 シタモノテ御座リマス
 二日華戰爭協力ニ關シ
 帝國ハ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スル旨ノコトハ右ノ通本
 案方針ニ明示スル所テ御座リマスルカ^カ之カ爲ニハ國民政府參戰
 ヲ機トシ同政府トノ間ニ「米英ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂スル
 爲日華兩國ハ不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍事上政治上經濟上完

外務省

三、本案第二要領一、國民政府ノ政治力強化ニ關シ本案第二要領一ノ
 (イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)ニ掲ケテ居リマスル所ハ國民政府政治力強化トシテ
 特ニ主要ナルモノニ付其ノ要領ヲ示ス趣旨ヲ御座リマス
 (イ)項説明 國民政府ハ誕生以來日尙殘ク未タ成熟ノ域ニ達スル
 ニ至ツテ居リマセヌノテ之カ健全ナル育成ノ爲ニハ尙帝國ノ支
 援ト好意的誘掖ヲ必要トスルコトハ當然テアリマスルケレトモ
 眞ノ支援誘掖ノ範圍ヲ逸脱シテ干涉ノ弊ニ陥ルカ如キコトカア
 リマシテハ獨立政府トシテノ權威ト自尊心トヲ傷ケ其ノ創意ト
 責任感トヲ殺スコトトナリ其ノ結果ハ同政府ノ政治力ノ強化ヲ
 妨クルコトトナルハ勿論政府ノ存立ソノモノノ意義ヲ滅却スル
 ノ結果トナルノ虞カアリマスノテ帝國ハ國民政府ニ對シ勉メテ

外務省

干涉ヲ避ケ極力其ノ自發的活働ヲ促進スルコトカ國民政府ノ政
 治力強化上極メテ緊要事ト認メ之ヲ本案第二要領一ノ(イ)項ニ掲
 ケマシタル次第テ御座リマス
 (ロ)項説明 本案第二要領一ノ(ロ)項ニ掲ケマシタル地方的特殊性
 ノ調整及國民政府ノ地方政府ニ對スル指導強化ニ關シマシテハ
 之カ實行ニ當リ支那側中央地方相互間ニ無用ノ摩擦、感情的相
 剋ナカラシムルノミナラス進テ融和的 國氣ヲ醸成セシメ中央
 地方共ニ更新支那ノ構成分子トシテ協心戮力戰爭完遂ニ邁進セ
 シムルト共ニ帝國トシテハ差當リ日華基本條約及附屬諸取極ニ
 反セサル範圍ニ於テ(1)省政府以下ノ各地方政府人事ニ關シテハ
 支那側ノ自由處置ニ任シ日本側ハ之ニ干涉セサルコト(2)省政府

外務省

ハ廣東ニ準シ爲シ得ル限リ國民政府ノ政治力ヲ滲透セシムルコト(7)海南島ニ關シテハ現狀ニ從ヒ日華基本條約秘密交換公文(甲)ヲ斟酌シ所要ノ調整ヲ行フコトカ必要テアルト考ヘテ括弧ヲ付シテ(ハ)項説明 本案第三要領(一)(ハ)項中ノ租界ニ關シマシテハ帝國ノ專管租界即チ天津、杭州、蘇州、漢口、沙市、重慶、廈門、福州ノ日本租界ヲ(支)那側ニ還付スル爲メ上海及厦門ノ共同租界ヲ支那側ニ移管スル爲メ國民政府參戰ヲ機トシ同政府トノ間ニ所要ノ取極ヲ締結スルコトトシテ右專管租界還付ニ關スル取極ノ實施ニ關シテハ日華兩國政府夫々同數ノ委員ヲ任命シ所要ノ事項ヲ議定セシムルコトトシ又上海及厦門ノ共同租界移管ニ關スル取極ニ於テハ「日本國政府ハ別ニ協議決定セラルル所ニ

外務省

15 62 1.1.1.0-27

6409

0098

以下ノ施政ニ關スル日本側ノ指導乃至要求ハ作戰警備ニ限定スルヲ本則トシ爾他ノ行政部面ニアリテハ廣ク支那側ニ任セ支那側ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ自發的活動ニ依ル政治力強化及積極的對日協力ヲ促進スルコト(5)日本側ハ支那側上級政府ノ下級政府ニ對スル政令ノ貫徹ヲ助長スルモノトシ末梢ニ於ケル干涉ニ依リ支那側施政ノ中絶分斷スルカ如キコトナカラシムルコト(4)華北政務委員會ト中央政府トノ權限關係ニ付テハ日華基本條約附屬秘密交換公文(甲)ニ基キ所要ノ調整整理ヲ圖ラシムルト共ニ勉メテ兩者間ノ空氣ヲ融和セシメ且相互ノ經濟的關聯性ヲ層密ナラシムルコト(5)蒙疆ニ關シテハ華北トノ間ニ相互ノ經濟的關聯性ヲ特ニ密ナラシムルコト(6)武漢及厦門ニ關シテ

外務省

14 68 1.1.1.0-27

6408

0097

政府ニ對スル財政援助ノ目的ヲ以テ課税ニ關スル我方特權ニ付速ニ調整ヲ加フル爲専門委員會ヲシテ先ツ課税問題ノ研究ニ當ラシムルヲ適當ト考ヘテ居ル次第ヲ御座リマス

本案第三要領(一)(二)項ニ所謂「其ノ他特異ノ事態」中ニハ北京公使館區域及日華基本條約附屬議定書第一條ニ所謂「特殊事態」即チ例ヘハ各種徵稅機關ニシテ特異ノ状態ニアルモノ及軍管理工場等ヲモ含ムモノテ御座リマスルカ右ノ中北京公使館區域ニ付テハ之ヲ支那側ニ移管スル爲國民政府參戰ヲ期トシ同政府トノ間ニ取極ヲ締結シテ之ヲ公表スルコトトシ又所謂「特殊事態」ニ付テモ支那ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ルコトカ國民政府ノ政治力強化上必要ナルト考ヘテ

外務省

17 64

S 1.1.1.0 - 27

6411

0100

從ヒ中華民國國民政府ニ於テ成ルベク速ニ上海共同租界及廈門共同租界ヲ回收スルコトニ同意スル旨ヲ定メ右兩取極ハ孰レモ之ヲ公表スルコトカ政治的效果ヲ舉グル上ヨリシテ適當テアルト存シテ居リマス

本案第三要領(一)(二)項中治外法權ノ撤廢ニ關シマシテハ治外法權撤廢ニ關スル具體案ヲ審議作成セシメ併セテ支那側ノ内地開放ニ關シ研究セシムル目的ヲ以テ日華專門委員會ヲ設置スル爲國民政府參戰ヲ機トシ國民政府トノ間ニ所要ノ取極ヲ締結シテ之ヲ公表スルコトトシ而シテ帝國トシテハ治外法權撤廢ノ實行ハ前記專門委員會ニ於ケル具體案ノ作成ニ伴ヒ漸次之ヲ實施ニ移シテ全面的撤廢ニ及フコトトシ先ツ國民

外務省

16 67

S 1.1.1.0 - 27

6410

0099

泰ク課税ニ關スル我方特權ニ付調整ヲ加フルト共ニ國民政府ノ
 關稅、轉口稅及統稅等ノ稅率其ノ他ノ合理的改正竝ニ儲備券ノ
 價値維持等ニ付所要ノ援助ヲ與フルコトカ必要ナルト考ヘテ
 居リマス

國民政府ノ戰爭協力ニ付キマシテハ疑ニ申述ヘマシタ通りテ御
 座リマス

(四)項說明 本案第三要領一ノ(四)ニ於テ將來國民政府ノ充實強化
 竝ニ其ノ對日協力ノ具現等ニ照應シ適時日華基本條約及附屬諸
 取極ニ所要ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮スル旨ヲ揭ケマシタル所
 以ニ付概略ヲ申上ケマスレハ總理大臣ノ本案提案理由説明中ニ
 アリマシタル如ク大東亞戰爭發生前ニ於キマシテハ帝國ハ支那

外務省

居リマス

尙九龍租借地ノ處理ニ關シマシテハ香港ト併セ別途之ヲ定ムル
 コトカ適當ト考ヘラレマスノテ其ノ旨ヲ明カニ致シマシタ

(二)項說明 本案第三要領一ノ(二)項ハ國民政府ノ自衛方策及戰爭
 協力方策ニ關スルモノテ御座リマス國民政府ヲシテ名譽ニ互リ
 自ノ途ヲ講セシムルノ必要カアルコトハ申ス迄モ御座リマセヌ
 例ヘハ人的、精神的及機構的ニモ戰時態勢ノ強化ヲ圖ラシムル
 コトカ必要ナリ又自ラ其ノ財政ヲ強化スル爲有ラユル方策ヲ
 講セシメ特ニ同政府治下ノ治安ヲ確立シ經濟力ノ伸張ヲ圖ラシ
 ムルコトカ必要ナルト考ヘマス而シテ帝國ハ右國民政府自衛
 方策ニ對シ援助ヲ與フルモノトシ特ニ前述ノ如ク治外法權等ニ

外務省

ニ於ケル米英ノ跳梁ヲ現有セシメツツ專變處理ノ方途ヲ講セサルヲ得サル事情ニ置カレテ居リマシタ關係モアリ之ニ對抗スル必要ト米英ト苟結スル支那抗日勢力ノ再燃ニ對スル備ヘヲ爲ス必要等ニ基キ帝國ノ對支要求條件ハ必シモ現下ノ新事態ニ適合セサル點カアリマヌルコトハ否々難キ所ト存セサルルノテ御座リマヌ然カノミナラヌ大東亞戰爭發生後ノ今日ニ於キマシテハ帝國最高ノ緊要事ハ米英ニ對シ勝ツニ在リテ支那トノ關係ニ於キマシテ出來得ル限リ速ニ眞ニ日支一體トナリ戰爭完遂ニ邁進スルノ態勢ヲ確立スルコトカ緊要テアルト認ノラルルノテアリマヌルカ之カ爲ニハ支那側ニ對シ今後ノ日支關係ニ付光明ヲ與ヘ重慶抗日ノ根據名目ヲ覆滅スルコトカ必要テアルト存セラレ

外務省

マヌスル事情ニ鑑ミマシテ必スシモ從來ノ經緯ニ拘泥スルコトナク將來適當ナル時機ニ於テ日華基本條約及附屬諸取極ニ所要ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮スルコトカ適當テアルト存セララル次第テ御座リマヌ尤モ如何ナル時機ニ於テ如何ナル修正ヲ加フルカニ付キマシテハ慎重ナル考慮ヲ要スル儀ト存シマヌ尙本案第二要領一ニ掲ケマシタル以外在支敵産處理ニ關シマシテモ出來得ル限リ支那側ニ對シ好意的措置ヲ講シ民心ノ獲得國民政府ノ政治力強化ニ資スルコトカ適當テアルト存シテ居リマ

外務省

ノ獲得及統制ニ付キマシテハ物資取得ヲ増大シ併セテ民生ニ資スル爲物資統制ヲ合理化スルト共ニ物資買上價格ノ敵正化ヲ圖ル必要カアルト考ヘテ居リマス

(ロ)項説明 對支經濟施策ノ實行ニ當リテハ日本側ノ獨占ヲ戒ムルト共ニ支那側官民ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ積極的對日協力ヲ具現セシムルコトカ肝要ト認メラレマスルノテ右ノ趣旨ヲ本案第ニ要領ニ(ロ)ニ掲ケマシタ次第テ御座リマス支那側官民ノ積極的ナル經濟活動及對日協力ヲ促進致シマスル爲ニハ差當リ日支合辦ノ支那人ヲシテ名實共ニ支那側ノ監督下ニ置キ其ノ資本、人的構成、免稅特權其ノ他ニ付根本的調整ヲ加フル外一般物資ノ生産及配給ニ當リテモ日本側ノ獨

外務省

四 本案第ニ要領ニ經濟施策ニ關シ

(イ)項説明 帝國ノ物的戰力ノ急速ナル増強カ國家當面ノ緊要事デアリマスル事ハ贅言ヲ俟タサル所テ御座リマス 而シテ帝國ノ物的戰力増強上支那方面ニ對スル期待ハ益々緊切ナルモノガアルノデアリマスルニ依リ本案第ニ要領ニ(イ)項ニ於キマシテ當面ノ對支經濟施策ノ重點ヲ明カニ致シマシタ次第テ御座リマス即チ當面ノ對支經濟施策ハ戰爭完遂上必要トスル物資獲得ノ増大ヲ主眼トシ占據地域内ニ於ケル緊要物資ノ重點的開發取得竝ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ圖ルコトニ在ル旨ヲ明示致シマシタ之カ實行ノ爲ニハ政府ハ統帥部ト策應シ有ラユル努力ヲ傾注スル覺悟テ御座リマス尙支那ニ於ケル物資

外務省

本案ニ基ク上述以外ノ具体的方策ハ所要ニ應シ別ニ定メテ實行ニ移シテ行クヘキモノト存シマス

本案ノ實行ニ當リマシテハ一方國內人心ノ指導ニ留意致シマス

ルト共ニ他方對外殊ニ對支宣傳戰ヲ活潑ニ展開シ極力政治的効果ヲ大ナラシムル如ク施策スルノ要緊切ナルモノアリト考ヘテ居ル次第デ御座リマス

要スルニ以上本案ノ目的トスル所ハ大東亞戰爭完遂ノ爲日支提携ノ根本精神ニ則リ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルコトヲ根本方針トシ之カ爲必要ナル施策ハ必シモ從來ノ經

外務省

占ヲ避ケ支那側ヲシテ參加均霑セシムル措置ヲ講スルコトカ必要テアルト考ヘテ居リマス

國民政府ノ對重慶方策ニ關シ

帝國ノ對重慶方策ニ付キマシテハ本案第一要領ニノ(イ)項ニ掲ケテ居リマスルカ國民政府ノ對重慶態度ハ右帝國ノ態度ニ順應セシムルコトカ適當ト考ヘラレマスノテ其ノ旨ヲ(ロ)ニ掲ケマシタ

次第テ御座リマス國民政府ヲシテ現情勢下ニ於テハ重慶ニ對スル一切ノ和平工作ヲ清算セシメ一意自疆ノ方策ヲ樹立シツツ眞ニ日支一體戰爭協力ニ邁進セシムルゴトカ參戰ニ伴フ同政府ノ新ナル使命ニモ鑑ミ適居テアルト存セラルル次第テ御座リマス

爾他ノ具体的方策ニ關シ

外務省

2565

19
0

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針（案）

昭和十七年十二月十八日
大本營政府連絡會議決定（案）

外務省

2774 S 1.1.1.0 - 27 6421 0110

2564

緯ニ拘泥スルコトナク果敢ニ實行センコトヲ期スルモノテアリ
マシテ深ク今日ノ戰爭遂行ノ要請ニ基クモノト存スル次第デア
リマス
以上ヲ以テ本案第ニノニノ(4)項及四並ニ對第三國關係以外ノ部
分ノ説明ヲ終リマス

外務省

26 77 S 1.1.1.0 - 27 6420 0109

REEL No. A-0227

0385

アジア歴史資料センター

(甲) 極力占領地域内ニ於ケル地方的特殊性ヲ調整シ國民政府ノ
 地方政府ニ對スル指導ヲ強化セシム

(イ) 支那ニ於ケル租界、治外法權其ノ他特異ノ諸事態ハ支那ノ
 主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ル
 九龍租借地ニ關シテハ香港ト併セ兼轄シ別途之ヲ定ム

(ロ) 國民政府ヲシテ不動ノ決意ト信念トヲ以テ各般ニ亘リ自體
 ノ途ヲ講セシメ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ノ爲必要ト
 スル生産ノ増強、戰爭目的ニ對スル官民認識ノ普及竝ニ治
 安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾
 ナカラシム

(ハ) 帝國ハ將來國民政府ノ充實強化竝ニ其ノ對日協力ノ具現等

外務省

第一、方針

一、帝國ハ國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日
 支提携ノ根本精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト
 共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰
 爭完遂ニ邁進ス

二、世界戦局ノ推移ト睨合セ米英側反攻ノ最高潮ニ達スルニ先チ
 前項方針ニ基ク對支諸施策ノ結實ヲ圖ル

第二、要領

一、國民政府ノ政治力強化

(イ) 帝國ハ國民政府ニ對シ勉メテ干涉ヲ避ケ極力其ノ自發的活
 動ヲ促進ス

外務省

2569

四、戰略方策

帝國ノ對支戰略方策ハ既定方針ニ據ル

作ヲ行ハス
情勢變化シ和平工作ヲ行ハシトス
場合ハ別々之ヲ決定ス
國民政府ヲシテ右帝國ノ態度ニ順應セシム

外務省

36 78 S 1.1.1.0-27 6425 0114

2568

三、經濟施策

ニ照應シ適時日華基本條約及附屬諸取極ニ所要ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮ス

(イ) 當面ノ對支經濟施策ハ戰爭完遂上必要トスル物資獲得ノ増大ヲ主眼トシ占據地域内ニ於ケル緊要物資ノ重點的開發取得並ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ圖ル

(ロ) 經濟施策ノ實行ニ當リテハ勉メテ日本側ノ獨占ヲ戒ムルト共ニ支那側官民ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ積極的對日協力ノ實ヲ具現セシム

三、對重慶方策

(イ) 帝國ハ重慶ニ對シ別ニ定ムル迄之ヲ對手トスル一切ノ和平工

外務省

30 77 S 1.1.1.0-27 6424 0113

2571

第一、方針

一、帝國ハ國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ根本精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進ス

二、世界戦局ノ推移ト睨合セ米英側反攻ノ最高潮ニ達スルニ先チ前項方針ニ基ク對支諸施策ノ活實ヲ圖ル

第二、要領

一、國民政府ノ政治力強化

(1) 帝國ハ國民政府ニ對シ勉メテ干涉ヲ避ケ極力其ノ自發的活動ヲ促進ス

外務省

1.1.1.0 - 27 6427

0116

2570

22

四拾部ノ内第 12 號

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針(御前會議議題)

昭和十七年十一月廿一日決定

三十三

專任 政務長

外務省

58 1.1.1.0 - 27 6426

0115

ニ照應シ適時日華基本條約及附屬諸取極ニ所宴ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮ス

ニ經濟施策

(イ) 當面ノ對支經濟施策ハ戰爭完遂上必要トスル物資獲得ノ増大ヲ主眼トシ占據地域内ニ於ケル緊要物資ノ重點的開發取得並ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ圖ル

(ロ) 經濟施策ノ實行ニ當リテハ勉メテ日本側ノ獨占ヲ戒ムルト共ニ支那側官民ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ積極的對日協力ノ實ヲ具現セシム

三、對重慶方策

(イ) 帝國ハ重慶ニ對シ之ヲ對手トスル一切ノ和平工作ヲ行ハス

外務省

(ロ) 極力占據地域内ニ於ケル地方的特殊性ヲ調整シ國民政府ノ地方政府ニ對スル指導ヲ強化セシム

(ハ) 支那ニ於ケル租界、治外法權其ノ他特異ノ諸事、態ハ支那ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ル

九龍租借地ノ處理ニ關シテハ香港ト併セ別途之ヲ定ム

(ニ) 國民政府ヲシテ不動ノ決意ト信念トヲ以テ各般ニ亘リ自強ノ途ヲ講セシメ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ノ爲必要トスル生産ノ増強、戰爭目的ニ對スル官民認識ノ普及並ニ治安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾ナカラシム

(丙) 帝國ハ將來國民政府ノ充實強化並ニ其ノ對日協力ノ具現等

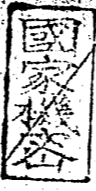
外務省

2574

狀勢變化シ和平工作ヲ行ハムトスル場合ハ別ニ之ヲ決定ス
(四) 國民政府ヲシテ右帝國ノ態度ニ順應セシム
四 戰略方策
帝國ノ對支戰略方策ハ既定方針ニ據ル

外務省

62 8 1.1.1.0-27 6430 0119



2575

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針

昭和十八年一月四日
閣議決定

第一、方針

一、帝國ハ國民政府ノ參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日
支提携ノ根本精神ニ則リ専ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共
ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完
遂ニ邁進ス

二、世界戦局ノ推移ト配合セ米英側反攻ノ最高潮ニ達スルニ先テ前
項方針ニ基ク對支諸施策ノ結實ヲ圖ル

第二、要領

一、國民政府ノ政治力強化

8 1.1.1.0-27 6431 0120

(1)帝國ハ國民政府ニ對シ勉メテ干涉ヲ避ケ極力其ノ自發的活動ヲ促進ス

(2)極力占據地域内ニ於ケル地方的特殊性ヲ調整シ國民政府ノ地方政府ニ對スル指導ヲ強化セシム

(3)支那ニ於ケル租界、治外法權其ノ他特異ノ諸事態ハ支那ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ル

(4)國民政府ヲシテ不動ノ決意ト信念トヲ以テ各級ニ亘リ自經ノ途ヲ開セシメ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ノ爲必稟トスル生産ノ増強、戰爭目的ニ對スル官民認識ノ普及並ニ治安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾ナカラシ

(5)帝國ハ將來國民政府ノ充實強化並ニ其ノ對日協力ノ具現ニ照應シ適時日華基本條約及附屬諸取極ニ所要ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮ス

二、經濟施策

(1)當面ノ對支經濟施策ハ戰爭完遂上必要トスル物資獲得ノ増大ヲ主眼トシ占據地域内ニ於ケル緊要物資ノ重點的開發取得並ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ圖ル

(2)經濟施策ノ實行ニ當リテハ勉メテ日本側ノ獨占ヲ戒ムルト共ニ支那側官民ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ積極的對日協力ノ實ヲ具現セシム

三、國論指導及對外啓發

26

2578

國民ノ間ニ對支處理根本方針ノ趣旨ヲ徹底セシムル様國論ヲ指導ス
對外啓發ニ付テモ亦同シ

8 1.1.1.0.27 6434

0123

國家機密

2579

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ基ク
具體的方策

昭和十八年一月四日
閣議決定 廿陸

第一、戰爭協力確保ノ爲ノ日華間基本取極

國民政府ノ戰爭協力ヲ確保シ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進
スル爲該政府トノ間ニ基本的取極ヲ締結ス

第二、國民政府ノ政治力強化

國民政府ノ政治力ヲ強化スル爲適當リ左ノ措置ヲ講ス

一、國民政府ノ財政強化

イ、國民政府ヲシテ自ラ其ノ財政ヲ強化スル爲有ラユル方策ヲ
講セシムルモノトシ特ニ該政府治下ノ治安ヲ確立シ經濟力ノ

8 1.1.1.0.27

6435

0124

停張ヲ圖ラシム

ロ、帝國ハ右國民政府財政自護方策ニ鑒シ援助ヲ與フルモノトシ特ニ治外法權等ニ達ク課税ニ課スル云々方特權ニ付調整ヲ加フルト共ニ國民政府ノ課税、釐口税及統稅等ノ稅率莫ノ低ノ合理的改正或ニ儲備金ノ價值維持等ニ付所長ノ援助ヲ與フ

ニ國民政府ノ地方政府ニ對スル關係調整

運力地方の特殊性ヲ調整シ國民政府ノ地方政府ニ對スル指導ヲ強化セシム此ノ際特ニ中央地方相互間ニ無用ノ摩擦、感情の相挫ナカラシムルノミナラス進テ協和の雰囲気ヲ醸成セシム中央地方共ニ更新支那ノ構成分子トシテ協心戮力戰爭完遂ニ邁進セシム

之カ爲帝國ハ差當リ日華基本條約及附屬諸取極ニ反セサル範圍ニ於テ左ノ通指置ス

イ、帝國ハ省政府以下ノ各地方政府人事ニ關シテハ支那側ノ自由處置ニ任シ之ニ干渉セサルコト

ロ、省政府以下ノ施政ニ關スル日本側ノ指導乃至要求ハ作戰時備ニ關スルモノニ限定スルヲ本則トシ爾他ノ行政部面ニアリテハ廣ク支那側ニ任セ支那側ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ自變的活動ニ依ル政治力強化及穩健的對日協力ヲ促進スルコトハ、帝國ハ支那側上級政府ノ下級政府ニ對スル政令ノ貫徹ヲ助長スルモノトシ末梢ニ於ケル干渉ニ依リ支那側施政ノ中絶分斷スルカ如キコトナカラシムルコト

ニ、華北政務委員會ト中央政府トノ權限關係ニ付テハ日華基本條約附屬祕密交換公文（甲）ニ基キ所要ノ調整整理ヲ圖ラシムルト共ニ勉メテ兩者間ノ空氣ヲ融和セシメ且相互ノ經濟的關聯性ヲ一層密ナラシムルコト

ホ、蒙疆ニ關シテハ華北トノ間ニ相互ノ經濟的關聯性ヲ特ニ密ナラシムルコト

ヘ、武漢及厦門ニ關シテハ廣東ニ準シ爲シ得ル限り國民政府ノ政治力ヲ滲透セシムルコト

ト、海南島ニ關シテハ現状ニ從ヒ日華基本條約附屬祕密交換公文（甲）ヲ斟酌シ所要ノ調整ヲ行フコト

三、租界還付及北京公使館區域移管

帝國ノ專管租界還付竝ニ上海共同租界、厦門共同租界及北京公使館區域移管ノ爲國民政府トノ間ニ所要ノ取極ヲ締結スルト共ニ關係第三國ニ對シ同調方適時斡旋ス

四、治外法權撤廢

治外法權撤廢ニ關スル具體案ヲ審議作成セシムル目的ヲ以テ日華專門委員會ヲ設置スル爲國民政府トノ間ニ所要ノ取極ヲ締結ス

五、在支敵產處理

在支敵產處理ハ既定方針ニ依ルモノトシ國民政府トノ間ニ所要ノ取極ヲ爲ス

第三、經濟施策

2585

政治力強化ニ資ス
 二支那官民ノ積極的ナル經濟活動及對日協力ヲ促進シ併セテ國民政府政治力強化ニ資スル爲

(1) 日支合辦ノ支那法人ヲシテ各實業ニ支那側ノ監督下ニ置キ其ノ資本、人的構成、免稅特權其ノ他ニ付根本的調整ヲ加フ

(2) 一般物資ノ生産及配給ニ當リテモ日本側ノ獨占ヲ避ケ支那側ヲシテ參加均括セシム

第四、爾他ノ具體的方策

爾他ノ具體的方策ハ所要ニ應ジ別ニ之ヲ定ム

0130

S 1.1.1.0 - 27

6441

2584

差當リ支那ニ於ケル物資ノ獲得及統制竝ニ支那側ノ對日經濟協力促進ニ關シ左ノ措置ヲ講ス

一、帝國ノ戰爭完遂上必要トスル物資ノ取得ヲ増大シ軍ノ自活ヲ確保シ併セテ民生ノ維持ニ資スル爲占據地域内ニ於ケル緊要國防物資ノ重點的且效率的取得竝ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ圖ル

之カ爲特ニ物資統制ヲ睿理化スルト共ニ物資買上價格ノ適正化ヲ圖ル

尙前線ニ在リテハ對敵經濟壓迫ヲ考慮シ戰爭必需物資ノ對敵流出ヲ阻止ス但シ之カ爲占據地域内ノ物資ノ交流ヲ阻害スルコトナシ

本施策實行ニ當リテモ支那側ノ責任ト創意トヲ活用シ國民政府

0129

S 1.1.1.0 - 27

6440

確定 26 〇

2586

昭和十八年一月八日樞密院審査委員會
於ケル内閣總理大臣説明案
先ツ私ヨリ、今回御諮詢ノ案ヲ得ルニ至リマシタル根本趣旨ヲ御
説明致シマス。

茲ニ定メラレマシタル帝國ノ對支處理根本方針ハ、當時ノ事情ニ
依リ成ルベク米英トノ衝突ヲ避ケ、出來得ベクンバ、米英ヲモ利
導シテ事變解決ニ資セシメントノ考慮モアツタノデアリマス。然
ルニ大東亞戰爭發生後ニ於キマシテハ、事情ハ激變致シ斯カル考
慮ヲ爲ス必要ハナクナツタノデアリマス。一方中華民國ハ更新以
來年ヲ經ルニ從ツテ健全ナル發達ヲ爲シテ居リマス。斯カル内外
ノ事情ノ變化ニ應ジテ帝國ノ對支政策ニ付キマシテハ、新ナル構

外務省

0131

6442

1.1.1.0-27

178 918

0132

6443

1.1.1.0-27

968

2587

想ヲ加フルヲ必要トスルニ至ツタノデアリマス。

而シテ今ヤ帝國ノ對支政策ノ根本ハ、今次大戰ニ於ケル勝利ノ確
保ト云フ點ニ中心ヲ置カナケレバナリマセヌ。而シテ之ガ爲ニハ
帝國ハ速ニ日支提携ノ根本方針ニ則リ、專ラ國民政府ノ政治力ヲ
強化スルト共ニ、重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ、更新支那ト一
體トナツテ戰爭完遂ニ邁進シ、國力ヲ擧ゲテ對米英戰爭遂行ニ專念シ
得ルニ至ル事態ヲ造リ出ス様努力スルコトガ今日國家ノ急務ト考ヘラ
レマス。而シテ國民政府ハ大東亞戰爭開始以來帝國ト同甘共苦ノ
氣持ヲ以テ參戰ヲ希望シテ居ツタノデアリマスガ、先般汪首席ガ
來朝シテ熱烈ナル所見ヲ披瀝シ帝國政府亦之ニ同感ノ意ヲ表シマ

外務省

タ對支政策採用ノ氣配カ窺ハレマスノデ、其ノ機先ヲ制シテ日華
ノ新シキ關係ヲ中外ニ宣明スルコト緊要ナリト認メタルニ依ルモ
ノデアリマシテ、從テ本案ニ付テハ本日中ニ御審議ヲ了セラレン
コトヲ希望スルモノデアリマス。

外務省

98 S 1.1.1.0-27

6445

0134

シタノデ茲ニ國民政府ハ近ク參戰スルコトト相成ツタノデアリマ
ス。依テ帝國ハ國民政府ノ宣戰ト同時ニ共同宣言ヲ發シテ米英ヲ
擊滅スル爲軍事上政治上又經濟上ニ完全ナル協力ヲ爲スト共ニ、
中華民國ノ健全ナル發達ヲ期シ支那ノ主權制限ニ關スル諸制度ヲ
徹廢センガ爲ニアラユル好意的措置ヲ講ズルヲ適當ト認ムルニ至
ツタノデアリマス。
斯カル見解ノ下ニ今回御諮詢ノ案ヲ得タ次第デアリマス。
御諮詢案ニ付キマシテハ外務大臣ヨリ説明致シマス。
尙今日速急ニ委員會開催ヲ御願ヒスルコトト相成リマシタノハ、
米國ニ於テ重慶政權ニ對シ、近ク治外法權ノ徹廢其ノ他思ヒ切ツ

外務省

1.2997 S 1.1.1.0-27

6444

0133

確
27
○

2590

戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言、租界
還付及治外法權撤廢等ニ關スル日華間協定ニ關スル
外務大臣説明

只今東條總理大臣ヨリ御説明ノアリマシタ通り帝國政府ニ於キマ
シテハ國民政府ノ對米英宣戰ニ當リ同政府ノ戰爭協力ヲ確保シ共
同戰爭完遂ノ牢固タル決意ヲ盟約宣明スルコトカ兩國ノ意思ニ適
合スルノミナラズ政治的效果ノ上ヨリスルモ必要ノ措置ト存ジマ
シテ在華帝國大使ニ對シ戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同
宣言ノ取極方訓令致シマスルト共ニ國民政府ノ政治力強化ノ目的
ヲ以テ帝國ソ一切ノ在支租界返還、上海共同租界、廈門共同租界
及北京公使館區域ノ回收承認、在支治外法權ノ撤廢等ヲ實行スル
コトト致シマシテ夫レニ必要ナル取極締結方併セテ在華大使ニ訓

外務省

0135

6446

1.1.1.0 - 27

170 97

0136

6447

1.1.1.0 - 27

187 100

2591

令致シタノデ御座イマス帝國大使ハ國民政府側ト交渉ノ結果六日
ニ至リマシテ日華共同宣言及租界返還、治外法權撤廢等ノ爲ノ協
定ノ案文ニ付キマシテ兩國政府不ニ意見ノ一致ヲ見ルコトト相成
リ又只今總理ヨリ述べラレマシタ事情モアリマスノデ此ノ際速ニ
調印ヲ致シ度イト存ジマシタ結果今日御諮詢ニ相成ツタ次第デ御
座イマス
右兩取極ノ内容ヲ申上ゲマスレバ日華共同宣言ハ今後日華戰爭協
力ノ基本的取極トシテ政府ノ極メテ重要視シテ居ル所デ御座イマ
シテ「大日本帝國及中華民國ハ米國及英國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ
完遂スル爲不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍事上、政治上及經濟上完
全ナル協力ヲ爲ス」旨ヲ簡明直截ニ力強ク中外ニ宣言スルモノデ

外務省

シ且日本臣民ニ對シ支那人ヨリ不利益ナル待遇ヲ與ヘサルコト」
 ヲ規定致シタモノデ御座イマス
 以上戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言竝ニ租界還付及
 治外法權撤廢等ニ關スル日華間協定ニ關シ簡單ニ御説明申上ケマ
 シタガ次ニ御參考迄ニ今回ノ支那側參戰ニ關聯致シマシテ滿洲國
 泰國、獨逸及伊太利ニ對シテ執ツタ措置ニ付キマシテ御説明申上
 マス
 國民政府ノ參戰ハ同ジ大東亞ニ國ヲ爲ス中國ノ盟邦タル滿洲國及
 泰國ニ取り重大關心事タルハ申上ル迄モ御座イマセン殊ニ同ジ對
 米英戰爭ヲ遂行シツツアル泰國ニ取り特ニ然リト存セラレマス一
 方同政府ノ參戰ハ泰國ト同様對米英戰爭ヲ戰ヒツツアル獨伊トシ

外務省

153 1.1.1.0-27 6449

0138

御座イマス租界返還等ノ協定ニ於キマシテハ第一ニ「日本ガ支那
 ニ於テ有スル一切ノ專管租界ヲ支那ニ還付スルコト、日支兩國ハ同
 數ノ委員ヲ任命シテ還付ノ實施細目ヲ決定スルコト、支那ハ日本ノ
 租界還付後其ノ租界地域ノ施政ニ當リ日本國民ノ居住、營業及福
 祉ニ關シテ尠クモ從前ノ程度ヲ維持スルコト」ヲ規定致シマスル
 シ第二ニ「日本ハ支那側ガ成ルベク速ニ上海共同租界、廈門共同
 租界及北京公使館區域ヲ回收スルコトヲ承認スルコト」ヲ規定致
 シマシテ最後ニ「日本ハ其ノ在支治外法權ヲ速ニ撤廢スルコトニ
 決シタルニ依リ日支兩國ハ其ノ具體案ヲ審議作成セシムル爲ニ同
 數ノ委員ヲ任命シテ専門委員會ヲ設置スルコト支那側ハ日本ノ治
 外法權ノ撤廢ニ伴ヒ支那ノ領域ヲ日本臣民ノ居住營業ノ爲ニ開放

外務省

152 1.1.1.0-27 6448

0137

2595

183

置ニ出シコトヲ要望致シ度イト存ジマシテ既ニ在獨帝國大使ニ對シテハ帝國ノ右政策ニ贊同ヲ求ムルト共ニ必要ニ應ジ佛國ニ對シテ斡旋方又在伊帝國大使ニ對シテハ伊國政府ニ對シテ帝國ニ協力方申入レル様訓令ヲ發出致シテ御座イマス

以上ヲ以テ私ノ説明ヲ終リマス

外務省

0140

186104 1.1.1.0-27 6451

2594

テモ多大ノ關心ヲ有シテ居ルモノト考ヘラレマスルノデ政府ハ在滿、泰、獨及伊ノ各帝國大使ヲ通ジマシテ本月四日ニ夫々其ノ任國政府ニ對シマシテ「今回國民政府ニ於テハ近ク參戰スルコトニ方針決定シタル趣ナル旨」ヲ内報致シマスルト共ニ特ニ獨、伊ノ兩國ニ對シテハ「國民政府參戰ニ關聯シテ帝國政府ノ執ルヘキ措置等ニ關シテハ追テ申入ルヘキ旨」ヲ追加申入レシメテ置キマシ

タ

更ニ本大臣ト致シマシテハ帝國ニ於テ在支租界返還、治外法權撤廢等ヲ實行スル次第ヲ適時獨伊佛等ニ對シテ通報致シマシテ帝國ノ眞意ヲ説明シテ帝國政府ノ政策ニ同調方要請スル意向ヲ御座イマスガ特ニ佛國被伊太利ニ對シマシテハ帝國同様租界返還等ノ措

外務省

0139

184109 1.1.1.0-27 6450

2596

(注意
二頁及四五頁に依りて)

戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言
租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國
中華民國間協定

條約集 第二十一輯 第三卷

(645)

外務省條約局

昭和十六年十一月九日編纂

611.1.1.0-27

6452

0141

REEL No. A-0227

0401

アジア歴史資料センター

(645)

2597

戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言

御名 御璽

昭和十八年一月九日

一 戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言

昭和十八年(中華民國三十三年)一月九日南京ニ於テ署名
同()年()月()日()年()月()日附官報發外公布

朕極密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十八年一月九日南京ニ於テ帝國全權委員ガ中華民國全權委員ト共
ニ署名調印シタル戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言ヲ茲ニ公布セシム

内閣總理大臣	東 條 英 機
陸軍大臣	嶋 田 繁 太郎
海軍大臣	谷 正 之
外務大臣	青 木 一 男
大東亞大臣	

6453

(645)

目 次

一 戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言
二 租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國手書長官間協定

0142

(645)

條約第一號

戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言

大日本帝國政府及
中華民國國民政府ハ
兩國緊密ニ協力シテ米英兩國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂シ大東亞ニ於テ道義ニ基ク新秩序ヲ建設シ茲
テ世界全般ノ公正ナル新秩序ノ招來ニ貢獻センコトヲ期シ左ノ通宣言ス
大日本帝國及中華民國ハ米國及英國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂スル爲メ不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍
事上、政治上及經濟上完全ナル協力ヲ爲ス

昭和十八年二月九日即チ中華民國三十二年一月九日南京ニ於テ

大日本帝國特命全權大使 重 光 葵(印)
中華民國國民政府行政院院長 汪 兆銘(印)

0143

(645)

2598

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定

朕極密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十八年一月九日南京ニ於テ帝國全權委員ガ中華民國全權委員ト共
ニ署名調印シタル租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定ヲ茲ニ公布セシム

昭和十八年一月九日

內閣總理大臣 東 條 英 機
外務大臣 谷 正 之
大東亞大臣 青 木 一 男

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定

三

107
S. 110 - 27 6454

條約第二號

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定

大日本帝國政府及

中華民國國民政府ハ

本日調印ノ戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言ノ本旨ニ從ヒ
中華民國ノ主權尊重ノ趣旨ニ基キ左ノ通協定セリ

第一章 專管租界

第一條

日本國政府ハ現ニ日本國ガ中華民國ニ於テ有スル專管租界行政權ヲ中華民國政府ニ還付スベシ

第二條

兩國政府ハ夫々同數ノ委員ヲ任命シ前條ノ實施ニ關スル細目ヲ協議決定セシムベシ

第三條

中華民國政府ハ前二條ニ依ル租界還付實施後當該地域ニ於ケル施政ニ當リ日本國國民ノ居住、營業及
福祉等ニ關シ尠クモ從前ノ程度ヲ維持スベシ

第二章 共同租界及公使館區域

第四條

日本國政府ハ別ニ協議決定セララル所ニ從ヒ中華民國政府ガ成ルベク速ニ上海共同租界行政權及廈門
鼓浪嶼共同租界行政權ヲ回收スルコトヲ承認スベシ

第五條

日本國政府ハ中華民國政府ガ北京公使館區域行政權ヲ速ニ回收スルコトヲ承認スベシ

第三章 治外法權

第六條

日本國政府ハ現ニ日本國ガ中華民國ニ於テ有スル治外法權ヲ速ニ撤廢スルコトニ決シタルニ依リ兩國
政府ハ右ニ關スル具體案ヲ審議作成セシムルノ目的ヲ以テ其ノ夫々任命スル同數ノ委員ヨリ成ル專門
委員會ヲ設置スベシ

第七條

中華民國政府ハ日本國ノ治外法權ノ撤廢ニ伴ヒ自國領域ヲ日本國國民ノ居住營業ノ爲開放スベク且日
本國國民ニ對シテハ中華民國國民ニ比シ不利ナル待遇ヲ與ヘザルモノトス
前條ノ專門委員會ハ前項ニ關スル具體案ヲ併セテ考究スベシ

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定

2600

(645)

本協定は昭和十八年一月九日日本及漢文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス

第八條

本協定ハ署名ノ日ヨリ實施セラレベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本協定ニ署名關印セリ

昭和十八年一月九日即チ中華民國三十二年一月九日南京ニ於テ日本文及漢文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス

大日本帝國特命全權大使 重 光 葵 (印)

中華民國國民政府行政院院長 汪 兆 銘 (印)

六

S 1.1.1.0 - 27 6456 0145

109

2601

極秘

昭和十一年九月九日調印「戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言」關係文書

「共同宣言」ニ關スル交換公文

(参考)

第一 汪行政院院長ノ東條總理大臣ニ對スル談話要領

第二 東條總理大臣ノ汪行政院院長ニ對スル談話要領

三 在支敵産處理ニ關スル交換公文

S. 1.1.1.0 - 27

6457

0146

REEL No. A-0227

0406

アジア歴史資料センター

日華共同宣言ニ關スル交換公文 (附、談話要領)
(往 翰)

以書翰啓上致候陳者日華兩國間、提携ヲ強化シ戰爭完遂ニ關スル兩國
間ノ協力關係ヲ緊密ナラシムルコトニ付テハ客年十二月二十一日東京
ニ於ケル日本國東條總理大臣ト中華民國汪行政院院長ト、間ノ會談ニ
於テ兩國政策ニ關スル完全ナル意見、一致ヲ見戰爭完遂ニ付テ、協力
ニ關スル日華共同宣言等ニ依リ右政策、具現ヲ見ルコト、ナレハ本
使、欣幸トスル所ニ有之候
右會談ニ際シ汪院長、所言ハ覺書トシテ提出セラレ又東條總理大臣、
陳述モ同月二十二日同シク文書トシテ汪院長ニ手交セラレタル次第ナ
ル處本日戰爭完遂ニ付テ、協力ニ關スル日華共同宣言作成ニ當リ閣下
ト本使ト、間ニ於テ戰爭完遂ニ付テ、協力ニ關シテハ前記文書中ニモ
記載セラレタル如ク
一、中華民國政府ハ各般ニ亘リ自強、途ヲ講シ廣ク民心ヲ獲得シ時ニ戰

爭完遂上必要ナル生産、増強、戰爭目的ニ對スル官民ノ認識、普及
並ニ治安維持、強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ以テ戰爭完遂ニ寄與ス
ベキコト

二、日本國政府ハ右ニ對シ積極的ニ協力シ且援助ヲ與フベク此ノ際租界
ノ還付、治外法權ノ撤廢、敵産ノ處理並ニ從來ノ懸案ノ解決等ニ
付テモ好意的措置ヲ執ルベキコト

三、付兩國政府間ニ意見、一致ヲ見タル旨確認シタルコトヲ本使ハ茲ニ
閣下ニ對シ通報致候

更ニ本日租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定作
成ニ當リ閣下ト本使ト、間ニ於テ上海共同租界及廈門鼓浪嶼共同租界
移管ノ時期ニ關シテハ

上海共同租界移管ノ時期ハ同租界内ニ於ケル友好國權益ノ介在其ノ
他諸般ノ事情アルニ付此等ノ處理ヲ了シタル上別ニ協議決定スベク
又廈門鼓浪嶼共同租界ノ移管ハ速ニ之ヲ實施スルコト

2603

ニ付兩國政府間ニ了解成立セル旨確認シタルコトヲ併セテ通報致候
本使ハ閣下ニ於テ前記通報ヲ了承セラレシコトヲ希望致候
本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候
昭和十八年一月九日
敬具

大日本帝國特命全權大使 重光葵 圖

中華民國國民政府外交部部長 褚民誼 閣下

112

6460

0148

(來翰譯文)

以書翰啓上致候陳者本日附貴翰ヲ以テ閣下ハ左ノ通御通報相成候
 日華兩國間ノ提携ヲ強化シ戰爭完遂ニ關スル兩國間ノ協力關係ヲ緊
 密ナラシムルコトニ付テハ客年十二月三十一日東京ニ於ケル日本國
 東條總理大臣ト中華民國汪行政院長トノ間ノ會談ニ於テ討論政策
 ニ關スル完全ナル意見ノ一致ヲ見戰爭完遂ニ付テハ協力ニ關スル日
 華共同宣言等ニ依リ右政策ノ具現ヲ見ルコトトナレルハ本使ノ欣幸
 トスル所ニ有之候
 右會談ニ際シ汪院長ノ所言ハ覺奮トシテ提出セラレ又東條總理大臣
 ノ陳述モ同月二十二日同シク文書トシテ汪院長ニ手交セラレタル次
 第ナル處本日戰爭完遂ニ付テハ協力ニ關スル日華共同宣言作成ニ當
 リ閣下ト本使トノ間ニ於テ戰爭完遂ニ付テハ協力ニ關シテハ前記文
 書中ニモ記載セラレタル如ク
 一 中華民國政府ハ各般ニ亘リ自強ノ途ヲ講ジ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ

戰爭完遂上必要ナル生産ノ增強、戰爭目的ニ對スル官民ノ認識ノ
 普及並ニ治安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ以テ戰爭完遂ニ
 寄與スベキコト

二 日本國政府ハ右ニ對シ積極的ニ協力シ且援助ヲ與フベク此ノ際
 界ノ還付、治外法權ノ撤廢、敵産ノ處理並ニ從來ノ諸懸案ノ解決
 等ニ付テモ好意的措置ヲ執ルベキコト

ニ付兩國政府間ニ意見ノ一致ヲ見タル旨確認シタルコトヲ本使ハ茲
 ニ閣下ニ對シ通報致候

更ニ本日租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定
 作成ニ當リ閣下ト本使トノ間ニ於テ上海共同租界及廈門鼓浪嶼共同
 租界移管ノ時期ニ關シテハ

上海共同租界移管ノ時期ハ同租界内ニ於ケル友好國權益ノ介在共
 ノ他諸般ノ事情ヲモテ付此等ノ處理ヲ了シタルト別ニ協議決定ス
 ベク又廈門鼓浪嶼共同租界ノ移管ハ速ニ之ヲ實施スルコトニ付兩

2695

國政府間ニ了解成立セル旨確認シタルコトヲ併セテ通報致候
本使ハ閣下ニ於テ前記通報ヲ承セラレシコトヲ希望致候
本官ハ前記通報ヲ承スルト共ニ右通報ニ場ガラレタル日本國政府
ノ好意的措置ニ對シ茲ニ深甚ナル謝意ヲ表シ候
本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

中華民國卅二年一月九日

中華民國國民政府外交部部長 蔣 民 誼

大日本帝國特命全權大使
重 光 葵 閣 下

(14)
S 1.1.1.0 - 27

6463

0150

(參考第一)

汪行政院院長、東條總理大臣對スル談話要旨

昨年十二月八日友邦日本大東亞戰爭ヲ發動シ我國國民政府同甘共苦ノ
 聲明ヲ發表シテ以來兆銘ハ如何ニシテ大東亞戰爭ニ協力シ中國ノ責任
 ナ盡スベキカニ付詳細熟慮スル所アリタルガ中國連年ノ疲弊ニ加ワル
 ニ全面和平未ダ實現セザル爲メ協力ノ誠意アルモ微力ニシテ貢獻スル
 コト能ハサルヲ痛感シ今年元旦新國民運動ヲ發起シ新シキ精神ヲ以テ
 新ラシキ時代ノ使命ヲ荷ハシムル職旨ノ下ニ精神總動員ヲ展開セリ中
 國ハ百年以來具ニ英米帝國主義ノ壓迫ヲ受ケ一部ノ人ハ其ノ政策ニ厭
 醉スル所トナリ二十餘年來ハ更ニ共產主義ノ猖獗スルアリ此ノ二種ノ
 害毒ハ政治、經濟、文化ノ一切ニ浸潤シ居レリ今日ノ急務ハ心理上徹
 底的ニ之ヲ改造スルヨリ大ナルハ無シ其ノ着手ノ方法トシテハ我國國
 父孫先生ノ大亞洲主義ニ歸リ以テ友邦日本ノ東亞新秩序建設ノ「スロ
 ーガン」ニ呼應シ東洋ノ道德的觀念ニ基キ中日共存共榮カ人前途ノ

S 1.1.1.0 - 27 6464

0151

光明アル日輝ナルコトヲ確信シ勇猛精進刻苦忍耐ノ精神ヲ以テ之ニ赴
 カンムルニ在リ即チ消極的方面ニ於テハ英米ノ帝國主義及共產主義ノ
 流毒ヲ肅清シ積極的方面ニ於テハ東亞民族精誠團結ノ基礎ヲ樹立スル
 ニ在リ今年元旦以來種々ノ宣傳訓練方法ヲ用ヒテ社會ノ人心ヲ積極的
 ニ推進シ殊ニ在學中ノ青少年及勤勞青少年方面ニ對シテハ新國民運動
 綱領ヲ頒布シ青少年團ノ基礎的條件ヲ明瞭ニシ中央陸軍軍官學校ニ於
 テハ更ニ學生ヲシテ中國ノ解放ハ大東亞戰爭勝利中ニ於テ之ヲ求ムベ
 キモノニシテ寸毫モ躊躇スルコトナク中華復興、東亞保衛ノ責任ヲ双
 肩ニ荷フベキ旨ヲ明ニセシムルニ意ヲ注キ更ニ右訓練ヲシテ一般軍隊
 中ニ迅速ニ普及セシムル爲メ首都ニ中央陸軍將校訓練團ヲ設置シテ全
 國ノ軍官ヲ召集シ期ヲ分チテ順次訓練ヲ受ケンヲ將校隊ト幹部總隊ト
 ニ分チ將校隊ハ中將以下大佐迄訓練期間チ一ヶ月トシ幹部總隊ハ中佐
 以下少尉迄訓練期間チ二ヶ月トシ訓練期間ニ於テハ必要ナル軍事學
 科ヲ授ク外殊ニ精神訓練ニ注意シ大東亞戰爭協力ノ趣旨ヲ徹底セシ

S 1.1.1.0 - 27 6465

ムニ等ノソツア
 而シテ右精神訓練ハ兆銘親シク自ラ之ニ當リ毎週必ズ往テ講義シ且ツ
 隨時其ノ心理ヲ考察シ其ノ疑問ヲ解釋シツツアルガ如クノ如キ長期ノ
 訓練ヲ經テ一般社會特ニ一般學生及軍人ハ大東亞戰爭協力ノ主旨ニ對
 シ相當ノ認識ト信念ヲ深メ之ヲ大東亞戰爭勃發ノ當初ニ較シレバ確カ
 ニ相當ノ進歩アリト確信スルモノナリ
 兆銘亦會テ深ク念ヲ建軍ハ至ツテ複雑多端ニシテ短期間ノ能ク完成
 スル所ニ非ズ故ニ同時ニ幹部同志ト彈思竭慮重慶側ヲシテ悟ラシメ
 ヲトナ期セリ若シ彼等ニシテ反省シ毅然トシテ其ノ態度ヲ改ムルニ於
 テハ兆銘等必ズ誠意ヲ以テ之ト提携合作シ全面和平ヲ實現シ中國ノ大
 東亞戰爭協力ノ力亦増加スベキヲ期待セリ奈何セシ事志ト違ヒ蔣介石
 等ハ雷ニ毫モ悟ルコトナキニナラズ益々深クニ陥リ英米等ノ諸國
 ト單獨不講和ノ協定ヲ締結シテヨリ後ハ一層轉換ノ途ノ餘地無キニ至
 レリ兆銘等絶望ノ餘是等東亞ノ叛逆ニ對シテハ警告スルモ效果ナク且

16

ツ英米ノ重慶援助ハ「ビルマルト」ノ切斷ニ依リ絶ユルコトナグ種
 々ノ救済方法ヲ講ジ其ノ勾結ノ手段亦日ト俱ニ深キヲ知ル兆銘等ハ國
 民政府ハ此ノ際寧ロ其ノ決心ト立場トヲ表明シ一切ノ人力物力ヲ動員
 シテ大東亞戰爭ニ參加シテコソ始メテ能ク和平地區内ノ民衆ヲシテ旅
 織ヲ鮮明ニシ武伐ヲ整齊シ東亞ノ同志敵愾同仇ノ戰線ニ立タシメ同時
 ニ和平地區外ノ民衆ヲシテ漸次其ノ東亞ノ叛逆タルコトヲ自覺セシメ
 内部ノ崩壞ヲ促進スルコトヲ得ベシ是レ國民政府ガ同甘共苦ヨリ一歩
 進メテ參戰ノ決意ヲ主張スル所以ナリ
 若シ參戰實現セシカ國民政府トシテ軍事方面ニ力ヲ致スヘキモノハ第
 一ニ現在ノ軍隊ニ對シ出來得ル限りノ整理訓練ヲ施シ能ク和平地區内
 ノ治安ヲ保障シ友邦駐屯軍ノ負擔ノ軽減ヲ期スルニテ第二ニ現在ノ
 軍隊ノ内其ノ比較的優秀ナルモノヲ擇ビテ改メテ簡拔配備ヲ行ヒ之ヲ
 前線ニ派遣シテ能ク友邦將士ノ辛勞ヲ分タシコトヲ期スヘシ同時ニ國
 内ニ於テハ大東亞戰爭ニ對スル戰意ハ之ガ爲メ益々昂揚セラレ貴我兩

國が安衛を共ニシ生死ヲ同フスルノ熱情ト決意トハ之ニ依リ益々普遍
 的且ツ鞏固トナルヘシ
 經濟方面ニ於テモ軍事ト同様大東亞戰爭中ニ於テ不斷ニ增強ヲ圖リ
 々々大東亞戰爭ニ裨益スル所アラシメントスルモノニシテ增強ノ方法ト
 シテハ第一ニ生産増加ナルガ農民ノ耕作ニ依リ得ル所ハ生活ヲ維持ス
 ルヲ除クノ外再生産ノ能力ヲ發揮セシメ又各種ノ工場ヲ恢復シ燃料
 原料トテ供給シ各種ノ企業ヲシテ各種ノ輕工業品ヲ製造セシメントス
 ルニアリ是レ管ニ和平地區内繁榮ノ重要條件ナルノミナラズ非和平地
 區内物資ヲ吸收スル上ニ於テモ亦重要ナル作用ヲ爲スモノナリ第二ニ
 消費節約ナルヲ務メテ人民ヲシテ滅私奉公ノ念ヲ以テ其ノ需用ヲ節約
 シ其ノ能率ヲ擴充セシムルニアリ第三ニ合理的統制方法ヲ以テ分配
 平均ニシ物價ヲ安定セシメ國計民生何レモ底無キ恐慌ニ陥ルコトナカ
 ラシムニアリ以上三者ヲ能ク爲シ得レバ中東亞經濟力ハ立ロニ活潑トナ
 リ必ズヤ其ノ得ル所ヲ以テ總々之ヲ大東亞戰爭ノ用ニ供スルヲ得ベシ

友邦日本ハ曩ニ中國ニ對シ戰費賠償ノ要求ヲ爲サズ中國人民ハ深ク感
 激シ居ル所ナルヲ唯全面和平尙未タ實現セザル爲メ重慶側ハ遂ニ日本
 ハ戰ヲ以テ戰ヲ養フモノナリトノ歪曲セル宣傳ヲ試ミ中傷離間ノ計ヲ
 爲シツツアリ今若シ參戰ヲ實行スレバ中國人民ハ其ノ生産ニ依リ得
 所ノ又ハ節約ニ依リ餘ス所ノ物資ハ之ヲ大東亞戰爭ノ用ニ充ツベキモ
 ノナルコトヲ知ルニ至ルベク友邦ニ對シテハ戰費ノ分擔トナリ自己
 對シテハ能ク大東亞戰爭宗遂ノ一部分ノ責任ヲ盡スコトトナリ一層感
 激勇躍シテ内ハ以テ東亞同志ノ氣ヲ壯トシテ外ハ以テ東亞叛逆ノ口ヲ
 塞キ其ノ膽ヲ寒カラシムルニ至ルベク其ノ效果ノ大ナル軍事ト同ジク
 或ハ之ニ過グルモノアルベシ
 以上ハ兆銘ノ參戰問題ニ對スル見解ト決心ナリ尙最後ニ一言附加スベ
 キコトアリ中國國內ニ於テ參戰問題ニ論及スル際一部ノ者ハ中國ノ經
 濟及軍事或ハ之ニ因リ二層其ノ自主性ト獨立性トヲ失フニ非ズヤト恐
 慮スルヲ免レズ兆銘思フニ參戰以後兩國ノ緊密ナル提携ハ更ニ一歩シ

進ノ中國ノ中央行政機構亦調整ヲ加ヘ中央ノ各地方政府ニ對スル統制
 カ亦強化シ戰時體制ニ適合セシムベキヲ以テ友邦日本ノ中國主權ヲ保
 重スルコトト中國ガ肅心膽懷ニ友邦日本ト協力スルコトトハ必ズヤ以
 方其ノ宜シキヲ得ルニ至ルベキヲ信ズ吾人ハ大東亞戰爭ノ宗卷ハ書
 兩國ノ共同出路タルコトヲ確信シ壯烈純潔ナル熱誠ニ基キテ
 以テ世キ死チ誓ツテ回ラズ以テ我國國父孫先正ノ垂示セル大連州ニ
 ガ大イニ光明ヲ放ツ日ノアランコトヲ期スルノミナリ

0154

6 1.1.1.0 - 27 6470

（参考第二）

東條總理大臣ノ汪行政院院長ニ對スル談話要領

東條總理大臣ノ汪行政院院長ニ對スル談話要領概ネ左ノ如シ

一、國民政府參戰ニ就テ

(イ) 帝國ハ國民政府ノ希望ニ應ジ同政府ノ米英ニ對スル宣戰ニ同意ス
(ロ) 宣戰ノ時機ハ諸般ノ準備ノ都合モアリ我方トシテハ概ネ明年一月
中旬以降適當ナル時機ヲ捉ヘラルルコトヲ希望スル次第ニシテ具
體的期日ニ付テハ追テ在華帝國大使ヲシテ貴方ト連絡セラルコ
トト教度シ

(ハ) 參戰ニ伴フ諸準備ハ日華双方共ニ絶對極秘裡ニ行フコト
ニ戰爭協力ニ就テ

國民政府參戰ニ依リ米英ニ對スル戰爭ハ完全ニ日華共同ノ戰爭トナ
ル次第ナルガ日華兩國ハ愈々不動ノ決意ト信念トヲ以テ共同戰爭完
遂ノ爲完全ニ協力スルコトト教度國民政府ニ於テハ時ニ戰爭遂行ノ

2610

爲必要トスル生産ノ増強、戰爭目的ニ對スル官民認識ノ普及、治
安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾ナカラシ
ムラレ其コトヲ切ニ希望ス

三、國民政府政治力強化ニ就テ

帝國ハ國民政府ノ政治力強化ニ付極力援助ヲ與フルノ熱意ヲ有ス就
テハ帝國トシテハ中國ニ於ケル租界、治外法權其ノ他特異ノ諸事態
ハ中國ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之ガ撤廢乃至調停ヲ圖ル
ノミナラズ敵産處理ニ關シテモ出來得ル限り中國側ニ對シテ意圖的措
置ヲ講ジ又從來ノ諸懸案等モ爲シ得ル限り速ニ解決ヲ圖ルノ用意アリ

國民政府ニ於テモ各般ニ互リ自強ノ途ヲ講ジ廣ク民心ヲ獲得シ官民

一體戰爭協力ニ邁進セラレンコトヲ希望ス

四、對重慶方策ニ就テ

帝國ハ重慶ニ對シテ之ヲ對手トスル一切ノ和平工作ハ之ヲ行ハザル方

S 1.1.1.0-27 6472

19
S 1.1.1.0-27 6471

0155

2611

針ナリ國民政府ニ對テモ右邊ノ態度ト同義セラレシト

以上ノ趣旨ノ細部ニ付テハ追テ在華帝國大使ヲシテ貴方ト充分連絡
協議セシムベキモ要スルニ國民政府參戰ヲ以テ日華間局面打開ノ一
大轉機トシテ速ニ日華提携ノ根本精神ニ則ル施策ノ結實ヲ圖リ眞ニ
日華一體トナリ共同戰爭完遂ニ邁進スルコトト致度シ

1/20

S 1.1.1.0 - 27 - 6473

0156

REEL No. A-0227

0415

アジア歴史資料センター

在支敵產處理ニ關スル交換公文

(往 翰)

以書翰啓上致候陳者本使ハ日本國政府ハ中華民國ニ於ケル日本國側押收ノ敵國ノ敵國人及敵國系法人ノ財產ハ戰爭元遂上ノ必要ニ依リ日本國自ラ處理スルモ、其手續命理的方法ニ依リ速ニ之ヲ中華民國政府ニ移管スルノ用意アル旨通報スルノ光榮ヲ有シ候
本使ハ閣下ニ於テ前記通報ヲ了承セラレシコトヲ希望致候
本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

昭和十八年一月九日

敬具

大日本帝國時命全權大使 重 光 葵 岡

2612

中華民國國民政府外交部長

緒 民 誼 閣下

(來 翰 譯 文)

以書翰啓上致候陳者本日附書翰ヲ以テ閣下ハ日本國政府ハ中華民國ニ於ケル日本國側押收ノ敵國ノ敵國人及敵國系法人ノ財產ハ戰爭元遂上ノ必要ニ依リ日本國自ラ處理スルモノノ外總テ合理的方法ニ依リ速ニ之ヲ中華民國政府ニ移管スルノ用意アル旨通報相成致候承致候
本官ハ中華民國政府ニ於テハ御來示ノ日本國政府ノ好意的措置ヲ欣然受諾スルモノナル旨閣下ニ對シ通報致候
右回答本官ハ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

中華民國三十三年一月九日

敬具

中華民國國民政府外交部部長 民 誼

大日本帝國時命全權大使

重 光 葵 岡

S 1.1.1.0 - 27 6475

S 1.1.1.0 - 27 6474

0157

2613

122

0158

REEL No. A-0227

0418

アジア歴史資料センター